

平成21年度 県教育委員会との教育懇談会の概要

- 1 日 時 平成21年10月23日(金) 15:00～17:00
- 2 会 場 山口県教育会館 3階 第4研修室、会議室1、県P事務局会議室
- 3 参加者 県P連関係者31名 県教委11名 合計42名



(木村教育問題委員長より説明)



(富川会長より挨拶)



(藤井教育長より挨拶)



(中村教育問題副委員長より趣旨説明)

4 意見交換

□各分科会では、最初に県PTAの質問に対して用意された資料にそって県担当者から説明後、意見交換がされました。

(1) 第1分科会「学力向上をめざして」

《主な話題》 ・全国学力・学習状況調査結果

の概要と今後の対応

・中高一貫教育校の成果

・2学期制導入の課題や今後の方針 など



《感想》 ○家庭学習の重要性をあらためて痛感した。まずは保護者と子どもが自ら努力し、結果として学力が向上することになるのが必然である。それを補う行政等の対策や支援も必要であり、今後の山口県教育委員会の施策に期待したい。

(2) 第2分科会「いじめ、不登校等の問題解決のために」

《主な話題》・「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」の結果の概要

- ・いじめや不登校の未然防止の取組
- ・相談機関の利用状況 など



《感想》○いじめの未然防止には、学校の道徳教育の充実や人間関係づくりな

どの取組の他、家庭や地域でも連携できることがある。いじめは、先生や大人の目の届かないところで発生していることから、できるだけ先生に子どもと接してもらうとともに、地域全体で子どもを育てる意識を持ち、子どもに気軽に声をかけ見守ることが大切と思った。

○保護者向けの「いじめ対応リーフレット」も既に配付してあるが、保管していない保護者もいるが、県教委 学校安全・体育課ホームページに掲載してあるので活用できるそうだ。

○先生が目が届きにくい、部活動中にいじめがある。子どもと接する時間が十分でない現状が改善できると良いと思った。

(3) 第3分科会「教師が子どもと向き合う時間の確保のために」

《主な話題》・先生が子どもと向き合う時間の確保と充実した指導

- ・教職員の精神疾患の現状や対策
- ・学校での解決困難な問題や事件・事故が発生した場合の県教委の支援
- ・学校運営協議会制度(コミュニティ・スクール)導入の効果や問題点
- ・教員免許更新制度の趣旨や運用 など



《感想》○子どもと一緒に遊んだり学習指導をしてもらえたりする時間が増えると、子どもが学校を好きになると思う。

○地域全体で子どもを育てる仕組みづくりをもっと、多くの保護者に知ってもらい、子どもたちによりよい環境が地域で作られるといいが、様々な事業が導入され、連携の名のもと保護者も地域も負担が大きくなってきたと思う。



■中村審議監から「今回の懇談会では、学力向上など多くの課題について意見交換がされ、お互いの課題意識が共有できたことがよかった。これをきっかけ

としてPTAと一体となって課題解決に向けた取組が始まることを期待している。今回は、意見交換の話題が多く、時間が少なかったので、運営を工夫してさらに充実し、PTAと県教委との距離をいっそう近くしたい。」とコメントをいただいた。